

平成30年 2月26日  
国土交通省中部地方整備局

## 3月1日より“建設技術フェア2018 in 中部”の 出展募集を開始します！

～10月17日・18日「建設技術フェア2018 in 中部」を吹上ホールで開催～

「建設技術フェア2018 in 中部」は、産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設分野を専攻している学生との交流や一般の方々に建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く紹介することを目的として開催します。

3月1日より、下記のとおり出展募集を開始します。多くの魅力的な新技術・新工法の出展をお待ちしています。

### 1. 開催概要

- 開催期間：平成30年10月17日（水）・18日（木）
- 会場：吹上ホール（名古屋市中小企業振興会館）
- 主催：国土交通省中部地方整備局・名古屋国際見本市委員会・（公財）名古屋産業振興公社
- 入場料等：無料・事前登録制
- 主な内容：技術展示、出展技術プレゼンテーション、講演会、学生交流ひろば、災害対策車両展示、NETIS相談コーナー、土木遺産パネル展示、ペーパーブリッジコンテスト等、多彩なイベントを予定しています。
- 展示規模：250社・団体（目標）
- 来場者数：15,000人（目標）

### 2. 出展について

- 募集技術：以下の6つの技術分野を募集します。  
A：建設業の未来を支える i-Construction 関連技術（主催企画）、  
B：防災・災害対策、C：維持管理・長寿命化、D：環境・リサイクル、  
E：設計・施工、F：ロボット・AI技術
- 申込方法：出展規程を了承の上、出展申込書に必要事項を記入し、押印の上、名古屋国際見本市委員会 建設技術フェア in 中部 事務局宛に必ず郵送でお申込みください。
- 申込締切：平成30年 4月27日（金）必着  
※詳しくは、建設技術フェア公式HP（<http://www.kgf-chubu.com/>）をご覧ください。  
※満小間になり次第、締切日を待たずに申込みを締切ります。  
※例年、募集開始直後に満小間となります。お早めにお申込みください。

### 3. 添付資料

出展募集リーフレット

### 4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ・岐阜県政記者クラブ・三重県政記者クラブ・第二県政記者クラブ・静岡県政記者クラブ・長野県会見場

### 5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課  
建設専門官 川口 一彦

TEL 052-953-8180

FAX 052-953-9192



# 建設技術フェア 2018 in 中部

テクテック



## 出展のご案内

いま  
現在を支え未来を創る  
先進建設技術



※イメージ写真

出展募集技術

《主催企画》



建設業の未来を支えるi-Construction関連技術



防災・  
災害対策



維持管理・  
長寿命化



環境・  
リサイクル



設計・施工



ロボット・  
AI技術

会期

2018年 10月 17日 水・18日 木  
10:00~17:00 10:00~16:00

会場

吹上ホール  
(名古屋市中小企業振興会館)

主催

国土交通省中部地方整備局  
名古屋国際見本市委員会  
公益財団法人名古屋産業振興公社

お問合せ

建設技術フェア in 中部 事務局 名古屋国際見本市委員会  
〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号(名古屋市中小企業振興会館5階)  
TEL.(052)735-4831 FAX.(052)735-4836 E-mail: kgf@nagoya-trade-expo.jp

[www.kgf-chubu.com](http://www.kgf-chubu.com)



## ご挨拶

建設技術フェアは、産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設分野を専攻している学生との交流や一般の方々に建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く紹介することを目的に、平成9年から毎年開催しているもので、おかげさまで今年で第22回目を数えることになりました。

本フェアが長きに渡り継続開催できましたのも、皆様方のひとかたならぬご支援・ご協力の賜と存じます。心より御礼申し上げます。

国土交通省では今年を生産性革命の「深化の年」と位置づけ、社会全体の生産性向上につながるストック効果の高い社会資本の整備・活用、関連産業の生産性向上、新市場の開拓を支える事を目的に、i-Constructionをはじめとする様々な取り組みを推進しております。

本フェアにおいても、今後、建設現場において期待されている様々な分野での技術開発・導入、なかでもi-Construction関連技術やロボット・AI技術を活用した新技術に大いに期待しているところでございます。

このような背景のもと、今年度は「防災・災害対策」、「維持管理・長寿命化」、「環境・リサイクル」、「設計・施工」、「ロボット・AI技術」、および主催企画として「建設業の未来を支えるi-Construction関連技術」の6分野から技術を募ることといたします。

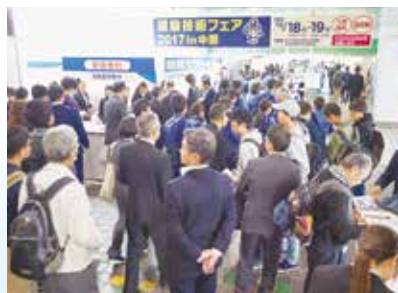
また、昨年は過去最高となる14,517名の方々に来場していただき、年々本フェアに対する期待も高まっています。

今回も多くの皆様にご出展、ご参加いただき「建設技術フェア in 中部」がさらに大きく発展することを期待しております。

国土交通省中部地方整備局（事務局：企画部施工企画課・中部技術事務所）

## 開催概要

名 称	<b>建設技術フェア 2018 in 中部</b>		
コンセプト	現在(いま)を支え未来を創る先進建設技術		
開催目的	①産・学・官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資する。 ②建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と方向性を紹介する。 ③建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介する。 ④建設関連産業の振興、技術開発の推進及び商取引の拡大を図る。		
主催企画	建設業の未来を支えるi-Construction関連技術		
開催期間	2018年10月17日(水) 10:00~17:00 / 10月18日(木) 10:00~16:00		
会 場	吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館) 〒464-0856 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号		
主 催	国土交通省中部地方整備局 名古屋国際見本市委員会 (構成:名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター、(公財)名古屋産業振興公社) (公財)名古屋産業振興公社		
共 催	(一社)中部地域づくり協会、(公社)土木学会中部支部		
後 援	農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、長野県、岐阜県、静岡県、三重県、静岡県、浜松市、日本下水道事業団東海総合事務所、(独)水資源機構中部支社、名古屋高速道路公社、中日本高速道路(株)名古屋支社、(公社)地盤工学会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部、(一社)日本道路建設業協会中部支部、(一社)日本建設機械施工協会中部支部、(一社)愛知県建設業協会、(一社)岐阜県建設業協会、(一社)三重県建設業協会、(一社)静岡県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)日本橋梁建設協会中部事務所、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中部支部、(公社)全国土木コンクリートブロック協会中部協議会、(一社)日本埋立浚渫協会中部支部、(一財)経済調査会中部支部、(一財)建設物価調査会中部支部、(一財)先端建設技術センター中部センター、(一財)日本建設情報総合センター中部地方センター、(一財)橋梁調査会、全国コンクリート製品協会中部ブロック、全国ヒューム管協会中部支部、全国ボックスカルバート協会中部支部、日本PCボックスカルバート製品協会中部北陸支部、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、(一社)中部経済連合会、NHK名古屋放送局、東海テレビ放送、中京テレビ放送(株)、CBCテレビ、テレビ愛知、(株)中日新聞社、岐阜新聞・ぎふチャン、日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、(株)建通新聞社、中部経済新聞社、静岡新聞社・静岡放送、伊勢新聞社、@FM (順不同)(申請中)		
展示規模	250社・団体(目標)	来場者数	15,000人(目標)
		入場料金	無料・登録制



「建設技術フェア2018 in中部」は、今回で22回目を迎えます。長年にわたり開催させていただいておりますのは、ひとえに関係各位の多大なるご協力とご支援の賜物と改めて敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

建設現場の労働力不足が深刻化する中、生産性の向上はもとより魅力ある建設現場を目指す取組みとして「i-Construction」が強力に推進されています。また、既存インフラ設備の長寿命化とともに、防災・減災の観点からも社会基盤の整備が強く求められていることから、新技術の開発を伴う新たな取組みが国を中心に急ピッチで進められることと思われます。

「i-Construction関連技術」を募集技術の主催企画として、建設分野における様々な新技術を展示・紹介するとともに、若者の就業率向上を図るべく、国及び地方自治体、業界団体、関連学会などと幅広く連携して建設技術フェアの運営を進めてまいります。

皆様方の更なるご支援ご協力を切にお願いするとともに、本フェアに積極的に参画されまして、事業の展開に大いにご活用いただきますようお願い申し上げます。

名古屋国際見本市委員会事務局

## 出展募集技術

6つの技術分野を募集します。

主催企画



### A. 建設業の未来を支えるi-Construction関連技術

建設現場の生産性向上に資するi-Construction関連技術を主催企画として募集します。



### C. 維持管理・長寿命化

点検用機材、点検・診断方法やシステム・ソフト、維持管理用の資機材、長寿命化のための設計法、工法、材料など



### E. 設計・施工

工期短縮、安全性向上、品質向上などに有効な工法、設計法、施工機械、材料、製品、システム・ソフトなど



### B. 防災・災害対策

地震・津波、風水害、土砂災害、雪害等の自然災害対策のための工法や資機材・製品・システム・ソフト、応急復旧のための工法や資材、被害軽減や防災教育等にかかわる資機材やシステム・ソフトなど



### D. 環境・リサイクル

環境保全・建設副産物リサイクルのための材料、工法、設計法、環境改善に有効な資機材、環境測定方法や機材、システム・ソフトなど



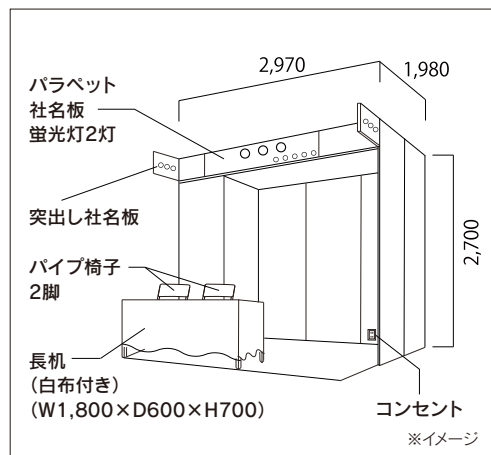
### F. ロボット・AI技術

維持・管理業務の効率化を推進するためのロボットやAIによるインフラ点検技術・システムなど

※会場レイアウトは上記の募集技術によるゾーン分けを行います。

## 出展形態と出展料金

	小間出展	研究シーズ出展	屋外出展
基本形態	W2,970×D2,970×H2,700(mm)		W3,000×W3,000(mm)
出展料金	200,000円(税別)	70,000円(税別)	50,000円(税別)
主催企画出展料金	180,000円(税別)	※大学・公設研究機関などの産業応用を目的とする研究シーズに限ります。	
主催者が設営する基本装飾	間仕切り・後壁(システムパネルを使用) パラベット、社名板1枚、蛍光灯2灯、突出し社名板、 長机(白布付き)1本(W1,800×D600×H700) パイプ椅子2脚 電気供給 (1~3小間 1kwまでの電気使用料及びコンセント1個を含む)		スペース渡しとなります。 「吹上ホール西側」にて展示予定。 社名板1枚 電気供給 (1~5小間1kw、6小間以上2kwまでの電気使用料、1kwにつきコンセント1個を含む)



※出展料金には、別途消費税がかかります。

※屋外出展は、内燃機関の稼働を伴う実演や重量物(建設機械、特殊車両)などで、屋内展示が出来ないと主催事務局が判断した場合にお申込みを受理させていただきます。





テックテック

## 出展申込要領

出展申込方法	出展申込書に必要事項を記入し、押印の上、名古屋国際見本市委員会 建設技術フェア in 中部 事務局宛に必ず郵送でお申込みください。事務局が出展申込書の原本を受領した時点をお申込みの正式受付とさせていただきます。なお、出展申込書はコピーし、控えとして保管してください。
出展申込書の記入について	代表者は、本展への出展について、責任と権限を有する方のお名前をご記入ください。また、押印もお忘れのないようお願いいたします。また、代表者宛に開会式のご案内を送付いたします。 連絡先は、本展の出展に際し、事務局との連絡窓口となる方のお名前、住所などをご記入ください。本展に関わる連絡、書類の送付などは担当者宛とさせていただきますので、担当者に変更などがあった場合は、必ず事務局までご連絡ください。 出展募集技術に基づき小間割りをいたしますので、一か所だけチェックしてください。 裸火・可燃性ガスの使用、危険物の持込み、給排水設備の使用、車両の館内乗入れ・クレーン作業については、小間割りの際に必要となりますので、必ずチェックをお願いします。 ※裸火・可燃性ガスの使用、危険物の持込みを含む展示・実演に際しては、主催事務局が取りまとめ、所轄する消防署に「禁止行為の解除申請」を行いますが、すべての事案が認められるとは限りません。
申込書の提出先	建設技術フェア in 中部 事務局 名古屋国際見本市委員会 宛 〒464-0856 名古屋千種区吹上二丁目6番3号(名古屋中小企業振興会館5階)

## 出展規程

出展申込締切日	平成30年4月27日(金) 必着 ※満小間になり次第、締切日を待たずに申込みを締切ります。
出展料金のお支払い	平成30年4月1日以降、原則1か月後を支払期日とした請求書を発行させていただきます。お支払いは銀行振込に限らせていただきます(現金、小切手は不可)。最終支払期日は平成30年6月29日(金)とします。 なお、銀行振込用紙(控)をもって領収書に代えさせていただきます。 出展料金を含め本展示会に関する全てのお支払いについての振込手数料は、出展者のご負担とさせていただきます。
出展小間数の変更又は出展取消	お申込みになった小間数の変更又は出展の取消しをされる場合、必ず理由を明記した書面を事務局までご郵送ください。小間数の変更又は出展の取消しを行う場合、事務局が書面を受理した日を基準として、下記のキャンセル料を適用させていただきます。
キャンセル料	出展者説明会の前日まで(小間割り確定前)…出展料金の30% 出展者説明会の当日以降(小間割り確定後)…出展料金の全額 ただし、小間(土間)数の減少に伴い、入金済みの出展料金の差額が生じた場合は、キャンセル料金を適用し、精算させていただきます。
小間割り	小間割りは、出展募集技術、出展規模、出展申込時期、会場構成などを考慮の上、主催者が決定し、出展者説明会にて発表します。出展者は決定された小間位置の変更、割り当てられた小間の第三者への転売・譲渡・貸与、または、出展者相互間にてそれを交換することはできません。 角小間など、小間位置を条件としたお申込みはできません。
申込みの受付保留	展示内容が本展の趣旨・目的・技術分野にそぐわない場合、事務局はお申込みを保留させていただきます。出展内容に関してご協力が得られない場合は、お申込みをお受けできません。また、反社会的行動を行っていると思われる企業・団体のご出展はお断りします。
展示会開催の変更又は中止	天災その他の不可抗力が原因で、本展の開催が困難と主催者が判断した場合は、会期を変更又は開催を中止させていただくことがあります。この場合、主催者は既に発生した経費を差し引き、出展料金を精算し、払い戻しますが、これによって生じた損害を補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
規程の変更	やむをえない事情があるときは、主催者はこの規程の一部を変更することがあります。また、この変更によって生じた損害は補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## スケジュール

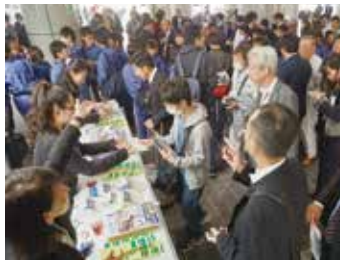
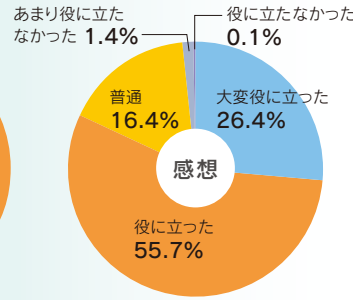
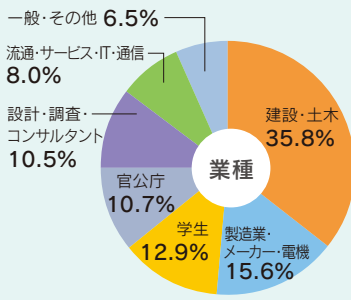
3月1日(木)	4月27日(金)	6月29日(金)	7月上旬	10月17日(水)~18日(木)	10月18日(木)
出展募集開始	出展申込み締切り (満小間になり次第締切り)	出展料金の最終支払期日	出展者説明会 (小間割り確定)	建設技術フェア 2018 in 中部 開催	撤去日 (当日撤去完了)



# 前回(2017年)の開催実績

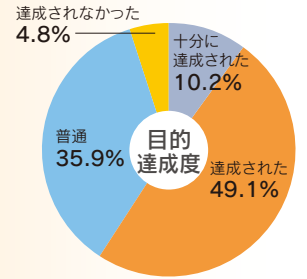
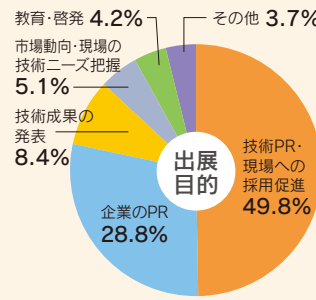
来場者数 **14,517人**

## 来場者アンケート結果

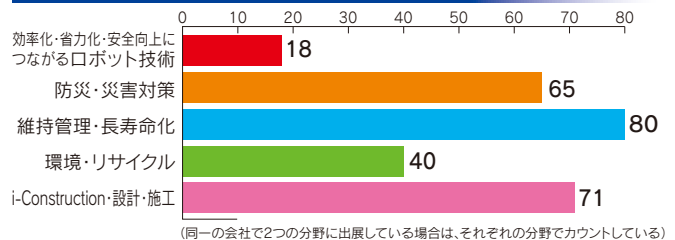


展示規模 **272社・団体** (共同出展者を含む)

## 出展者アンケート結果



## 出展分野別出展者数(272社・団体について集計)



## 建設技術フェア 2017 in 中部 出展者一覧

### 【効率化・省力化・安全向上につながるロボット技術】

- (株)鴻池組
- 国際航業(株)
- (株)シーティーエス
- (株)シーテック
- ジビル調査設計(株)
- 西武建設(株)
- 大成建設(株) 名古屋支店
- (株)竹中土木
- (株)テイクコ
- NEXCO東日本グループ
- (株)ネクスコ東日本エンジニアリング
- (株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- (株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
- (株)ネクスコ・エンジニアリング北海道
- (株)フジタ
- (株)前田製作所 レンタル21
- (株)レンタルのニッケン
- (株)イビーエム

### 【防災・災害対策】

- 青木あすなろ建設(株) 名古屋支店
- (株)赤羽コンクリート
- 旭イノベックス(株)
- 損斐川工業(株) アイケイコンクリート
- (有)井村商会/青森環境開発(株)/無溶剤塗料研究会
- 内田産業(株)
- (株)エスエスティー協会
- NIU研究会
- (株)エムオーテック 名古屋支店
- (株)オササ・テクス
- 環境システム(株)
- (株)熊倉組
- KJS協会/アンカー補修協会
- ケミカルグラウト(株)
- (株)建設技術研究所
- (公財)高知県産業振興センター
- 大斗(有)/関西仮設(株)/(株)技研製作所
- (有)四国浄管/四万十コンクリート(株)
- 高層救命器具(株)高知工場/(株)西百産業
- (有)吉村テクノ
- 国土環境緑化協会連合会
- 国土交通省中部地方整備局 河川部 中部地震津波対策技術センター
- 国土交通省中部地方整備局 名古屋湾空港技術調査事務所
- (株)近藤工業 環境事業部
- 対新技術研究会
- (株)さくら電子
- サンコーコンサルタント(株)
- 三信建設工業(株)
- JFEグループ
- JFEスチール(株)/JFEエンジニアリング(株)/JFE建設(株)/ジェコス(株)/JFEシビル(株)/JFE商事テールワン(株)
- (一社)全国圧入協会
- (一社)全国落石災害防止協会
- (株)ダイカ
- 大日本土木(株)
- 多機能アルター(株)
- 玉野総合コンサルタント(株)
- 中部大学 地盤防災研究室
- 中部大学 都市水工研究室
- (一社)中部地域づくり協会
- 東亜プラウト工業(株)
- 東興ジオテック(株) 中部支店
- 飛倉建設(株)
- 飛島建設(株)
- 中日本建設コンサルタント(株)
- 南濃コンクリート工業(株)
- ハイジュールネット工法研究会
- (株)パスコ
- PAN WALL工法協会

- 日立造船(株)
- プレストネット工法協会
- 北陽建設(株)
- 丸栄コンクリート工業(株)
- 名城大学 地盤工学研究室
- 矢作建設工業(株)
- (株)山辰組

### 【維持管理・長寿命化】

- (株)アイティエス
- 阿南電機(株)
- 石田鉄工(株)
- (株)イビコン
- (株)エコクリーン
- SC研究会
- NOK(株)
- FSテクノロジー(株)
- 塩害対策工法研究会
- (株)オカグレート
- (株)オリエンタルコンサルタンツ
- (株)アサノ大成基礎エンジニアリング
- (株)ガイアート 中部支店
- 鹿島道路(株) 中部支店
- (株)川金コアテック
- 川田テック/ロジーズ(株)
- KEYTEC(株)
- (株)キクテック
- 岐阜大学インフラマネジメント技術研究センター
- 岐阜大学地盤工学研究室
- (一財)橋梁調査会
- (株)ケミカル工事
- 国土交通省中部地方整備局 道路部 交通対策課
- コムシ(株)
- 五洋建設(株) 名古屋支店
- 近藤グループ (株)近藤組
- 近藤グループ 新日産業(株)
- シオ・サーチ(株)
- (株)シクソン
- JIPテック/サイエンス(株)
- 循環式エコクリーンプラスト研究会
- Sto. Cretec Japan(株)
- 住友大阪セメント(株)
- 大谷建設(株)
- 大日コンサルタント(株)
- 中目建設(株)/(一社)JIPH工法協会
- (株)中部EEN
- 東亜道路工業(株) 中部支店
- 東洋アドバンス(株) ドローン事業部
- (株)ドーコン
- 戸田建設(株) 名古屋支店
- 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
- 新潟県
- 高橋土建(株)/(株)プロテックエンジニアリング
- (株)水倉組/(株)ニースインターナショナル
- 西日本高速道路エンジニアリング四国(株)
- 西日本高速道路エンジニアリング中国(株)
- 西日本高速道路メンテナンス九州(株)
- ニチレキ(株) 中部支店
- 日綜産業(株)
- 日特建設(株) 名古屋支店
- 日本躯体処理(株)
- 日本車輜製造(株)
- 日本ファブテック(株)
- (株)服部組
- 日之出水道機器(株) 中部支店
- バルテム技術協会 中部支店
- ファルビ・ジャパン(株)
- 福田道路(株) 中部支店
- 福美建設(株)

### 【環境・リサイクル】

- 青森県
- 上北建設(株)/田中建設(株)/(株)藤林商会/十武建設(株)
- 井納木材(株)
- (有)N&N corporation
- 大林道路(株) 中部支店
- (株)オクノコト
- (株)加藤建設
- 君岡鉄工(株)
- 共和コンクリート工業(株)/(株)ナベシマ/日本ナチュロック(株)
- クールワールド振興会((一社)多治見建設業協会)
- サイレム ジャパン(ワイエスアイ・ナノテック(株))
- (株)佐藤渡辺 中部支店
- 山昇建設(株)
- シーリングソイル協会
- 穂水樹脂(株) 中部支店
- (株)仙台銘板
- 大有建設(株)
- 大有コンクリート工業(株)
- (株)タイワテック
- (株)竹中道路 名古屋支店
- 中部地方建設副産物対策連絡協議会
- 中部土木(株)
- TRD工法協会
- (一社)泥土リサイクル協会
- 鋼鋼スラグ協会 電気炉スラグ普及委員会
- 名古屋工業大学 土木材料研究室
- 西松建設(株) 中部支店
- 日本国土開発(株) 名古屋支店
- (協組)Masters土留部材引抜同時充填工法研究会
- 丸成林建設(株)
- (株)メイホーエクステック
- (株)森環境技術研究所/ボンテラン工法研究会
- (株)ヤマウラ
- 古河ユニック(株)/ユニック中部販売(株)/古河ロックドリル(株)

### 【設計・施工・i-Construction】

- アーボ(株)
- (株)IHインフラシステム/(株)IHインフラ建設
- アイサンテック/ロジ(株)
- (株)アスコ大東
- アンダーパス技術協会
- 安藤ハザマ
- (株)岩崎
- NRCジャパン(株)
- (株)エヌ・エス・ピー
- (株)エムエルティーソイル
- (株)オーク
- (株)大林組
- オープンシールド協会
- オープンビット工法協会
- (株)奥村組
- 鹿島建設(株) 中部支店

- (株)亀太
- 川上産業(株)
- (株)関電工
- (株)金太/マルアイ商事(株)
- (株)建設システム
- (一財)建設物価調査会
- 国土交通省中部地方整備局 中部技術事務所
- (株)小島組
- ゴトウコンクリート(株)
- 五洋建設(株)/日精(株)/ワム・システム・デザイン(株)
- 佐藤工業(株)
- 清水建設(株)
- (一社)社会基盤技術評価支援機構・中部/(一社)中部地域づくり協会
- 新日鐵住金グループ
- 新日鐵住金(株)/新日鐵住金エンジニアリング(株)/日鐵住金建材(株)/日鐵住金防蝕(株)/ジオスター(株)/(株)ダイクレ 中部営業所
- (一社)セイフティーフラット工法協会
- 全国型枠工業会 中部支部(事務局:タカムラ総業(株))
- (一財)先端建設技術センター
- 象印チャンブロック(株)
- 大豊建設(株)
- 大洋基礎工業(株)
- 灌富工業(株)
- 中央復建コンサルタンツ(株)
- (株)中部テクス
- 中部土木(株)
- 鉄建建設(株)
- 東亜建設工業(株) 名古屋支店
- 東急建設(株) 名古屋支店
- 東邦アストリー(株)
- 東洋建設(株)
- (株)東洋スタビ
- トミナコーポレーション(株)
- (株)ニコントリンブル
- 西尾レントオール(株) 中部支店
- ニチコンコンサルタント(株)
- 日建リース工業(株)
- (一財)日本建設情報総合センター
- 日本工営(株) 名古屋支店
- PC-壁体工業会
- (株)フォーラムエイト
- 福井コンピュータ(株) 中部営業所
- フジプレコン(株)
- (株)不動テトラ
- 前田建設工業(株)
- 三重大学大学院工学研究科建築学専攻 三島研究室
- (株)ミック
- (株)矢野商店

### 【学生交流ひろば】

- 愛知県
- (一社)愛知県建設業協会
- 岐阜県
- (一社)建設コンサルタンツ協会 中部支部
- 静岡県
- 中部地方整備局
- 東海農政局
- 長野県
- 名古屋市
- 名古屋市立工業高等学校 都市システム科
- (一社)日本理立協会 中部支部
- (一社)日本橋梁建設協会 中部事務所
- (一社)日本建設業連合会 中部支部
- (一社)日本道路建設業協会 中部支部
- (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 中部支部
- 三重県

建設技術フェア 2018 in 中部



出展申込書

名古屋国際見本市委員会 御中
平成 年 月 日
建設技術フェア 2018 in 中部の出展規程を了承し、下記のとおり出展を申し込みます。

Form with fields forフリガナ, 貴社名, 代表者 (役職, 氏名, 印), 担当者 (所属, 役職, 氏名), 連絡先 (〒, 住所, TEL, FAX, E-mail), and U R L.

Table with 4 columns: 出展区分, 申込数, 出展料金, 備考. Rows include 小間出展, 主催企画, シーズ出展, and 屋外出展.

※出展規程をご確認の上、□にチェック及び申込み数を記入してください。
※屋内出展の小間数は、出展希望企業が多いため1企業あたり3小間までとします。ご協力お願いします。

Form section titled '出展内容' with checkboxes for technology categories: A. 建設業の未来を支えるi-Construction関連技術, B. 防災・災害対策, C. 維持管理・長寿命化, D. 環境・リサイクル, E. 設計・施工, F. ロボット・AI技術.

Form section for '主要出展技術の説明を20文字以内でご記入ください。' followed by a grid for entering text.

Table for 'その他の出展技術' and '危険物など'. Columns include '技術名' and '説明'.

※床面にアンカーボルトの打ち込みはできません。

人切り取り